

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100286		
法人名	株式会社石田福祉サービス		
事業所名	グループホーム愛ランドまめじま		
所在地	長野県長野市大豆島5280-1		
自己評価作成日	平成 24年 7月 2日	評価結果市町村受理日	平成 24年 9月 7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2090100286&SCD=320&PCD=20
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 24年 7月 18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員は研修を受け、知識と経験を豊かにし、利用者の立場になって考え寄り添い、1人1人を大切に思う事ができている。利用者職員が家族であるような関係を作り、得意なことを得意な人が行うよう協力しあえる関係になっている。また、ミニ旅行として年に5回程、半日で帰所可能な場所に出かけ、イベントとしての楽しみや季節を感じたりしていただいている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「愛ランドまめじま」は千曲川、犀川の合流点、長野冬季オリンピックの主要会場を結んだ「五輪大橋」のもとに近く、有料老人ホームと敷地を一にした平屋造りのホームである。尚ユニットは玄関を真ん中に左右に分かれ引き戸で仕切られているので利用者はユニット間を自由に行き来している。今年の8月で2年目を迎えるホームは二代目の管理者と職員で「愛ランド」のカラーを出そうと新たな理念の作成に取り組んでいる。「生活歴の違った利用者が楽しく生活できる事業所独自の理念を作ろう」、「理念にサブ項目も入れて・・・」と管理者、職員が協働し、1~2ヶ月後には新しい理念に沿った支援が始まる。この理念作成の過程で管理者と職員の絆が更に強くなり、利用者にも更に良いサービスがもたらされるだろうという兆しを感じることができた。ホームを地区の認知症の相談場所として活用していただくために運営推進会議などを通じて地域に発信したいとの考えもあり地域の社会資源としての役割もますます高まっていくものと期待される。同じ仲間の集う善光寺平グループホームネットワーク連絡会にも加盟しており、年6回行われる会議や勉強会にも積極的に参加し、知識や技術の修得にも余念がない。これからは楽しみなホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		